

# 北広島町のこれからの まちづくりについて

---

地域説明会資料



# 本日の説明会の流れ

## 1.都市計画マスタープラン等について説明

- (1) 都市計画マスタープラン・立地適正化計画とは
- (2) 計画の基本的な考え方等
- (3) 計画策定のスケジュール
- (4) 北広島町の状況
- (5) 住民アンケートの結果(速報)

## 2.まちづくりのアイデア出し

- (1) まちの資源・自慢等の聞き取り
- (2) 将来のまちづくりのアイデア等の聞き取り
- (3) 発表



# 1.都市計画マスタープラン等について説明

---



# (1) 都市計画マスタープランとは

おおよそ20年後の『都市の将来像』と将来像の実現に向けた『都市計画の指針』を示すものです。

## 都市計画とは・・・

都市とは、人々が住み、働き、憩い、そしてふれあう場所。その都市の、

土地利用  
(土地の使い方)

都市施設  
(都市を支える施設)

市街地開発事業  
(開発・再開発)

住宅地、商業地、工業地など、それぞれの地域のおおむねの**土地の使い方**を定めるものです。また、その土地に応じた環境が確保できるよう、**建物の立て方のルール**を定めます。

都市に必要な骨格となる道路、公園、下水道などの施設を『**都市施設**』といいます。これらの規模や配置などを定めます。

新しいまちを作ったり、古くなったまちを作り直すために、まち全体の中でその**地区の役割**などを考えて、**ある区域で計画的に市街地の整備を行う**ものです。

これらに関して定める計画を『都市計画』といいます。

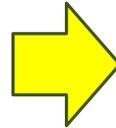
具体的には・・・交通・景観・自然環境・福祉・防災まちづくりなどの計画があります。



# (1) 都市計画マスタープランとは

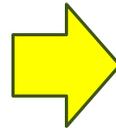
【都市計画】の3つの役割

まちの将来像を示す



都市計画マスタープラン  
など

計画的な土地利用への  
規制と誘導

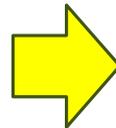


用地地域の設定など

基づく



快適な都市生活・都市  
活動のための基盤整備



道路や下水道の  
整備事業など

基づく



# (1) 立地適正化計画とは

都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方のもと、居住と居住に関わる医療、福祉、商業等の生活サービス施設が適切に立地するよう、時間をかけながら緩やかな誘導を図り、公共交通と連携した持続可能でコンパクトなまちづくりを推進する計画です。

## コンパクト・プラス・ネットワークとは・・・

**コンパクトシティ**  
生活サービス施設  
と居住の場を近接  
させ、人口を集積し  
たコンパクトなまち



**ネットワーク**  
公共交通を中心と  
した地域間の連携  
や持続可能な公共  
交通ネットワークの  
形成

住宅や商業施設、医療・福祉施設などの生活サービス施設がまとまって立地し、住民が公共交通や徒歩などにより、これらの施設に容易にアクセスできるまちづくりの考え方。基本的には、脱車社会を目指すもので、公共交通機関または徒歩で移動できる範囲に都市機能をまとめることです。



## (2) 計画の基本的な考え方等

### 計画策定・改定の背景

本町は、平成27年に都市計画マスタープランを策定し、地域の個性を活かした魅力あふれるまちづくりを進めてきました。来年度で計画期間を迎えるため、社会経済情勢の変化を踏まえた改定が必要となっています。

国においては、深刻化する人口減少や少子高齢化に対応するため、都市再生特別措置法改正を受け、「立地適正化計画」が制度化されました。加えて、広島県においては、広域的な視点に立って都市づくりを進めていく必要があることから、令和3年に「広島圏域都市計画マスタープラン」が策定されました。

こうした背景を踏まえ、本町においても引き続き、『自然と共生し、地域の再生をはかり、定住・交流の拡大をめざす』必要があることから都市計画マスタープランの改定および立地適正化計画の策定を行うものです。

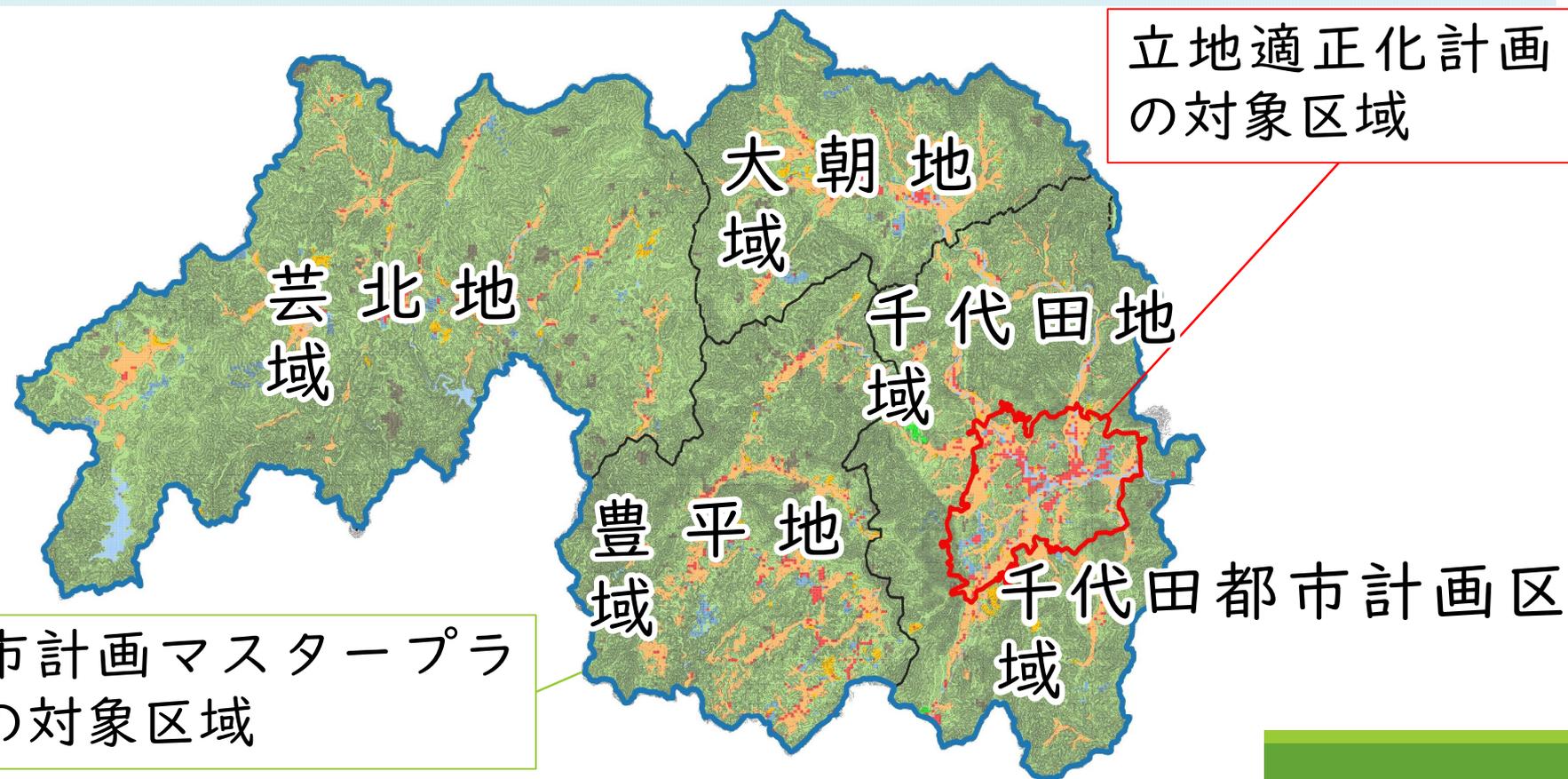
### 計画策定・改定の基本的な考え方

本町は、平成27年（2015年）に策定した北広島町都市計画マスタープランの基本的な都市づくりの考え方を引き継ぎつつ、急速な人口減少、少子高齢化の進行等の本町を取り巻く社会経済情勢の変化に対応するとともに、近年の国や県の都市政策の動向や上位計画等を踏まえた上で計画の改定等を行います。

## (2) 計画の基本的な考え方等

### 計画の対象区域

- 都市計画マスタープランは本来都市計画区域を対象とする計画ですが、地域ごとの特色・強みを活かしつつ、町全体の一体的なまちづくりを進めるため、行政区域全域を対象とします。
- 立地適正化計画は、千代田都市計画区域を対象区域とします。



## (2) 計画の基本的な考え方等

### 計画の主なねらい

#### 1. 本町が目指すべき将来のまちの姿を設定する

将来にわたって持続的なまちづくりを実現するため、目指すべき将来のまちの姿を設定します。

#### 2. まちづくりの方向性を示す

将来のまちの姿を実現するため、実施すべきまちづくりの方向性を示します。

#### 3. 関連部局と連携した総合的・一体的なまちづくりを行う

都市計画だけでなく、交通や産業、福祉等の関連部局と連携することで、総合的かつ一体的なまちづくりを行います。

#### 4. 地域住民のまちづくりへの参加をやすくする

地域住民と将来のまちの姿やまちづくりの方向性を共有することができ、住民の意見やアイデアを反映しやすい環境が整うため、まちづくりへの参加を促すことができます。

## (2) 計画の基本的な考え方等～必要性

まちの現状

- 人口減少・少子高齢化の深刻化
- 市街地の低密度化
- インフラ維持管理費の増加
- 自然災害の頻発・激甚化

生活サービス機能と居住を効果的に誘導  
「コンパクトシティ」



公共交通ネットワークの再構築  
「ネットワーク」

各拠点を公共交通で結ぶ  
「多極ネットワーク型コンパクトシティ」



**都市計画マスタープランや  
立地適正化計画の作成が必要**

役場周辺は施設が  
多く利便性が高い

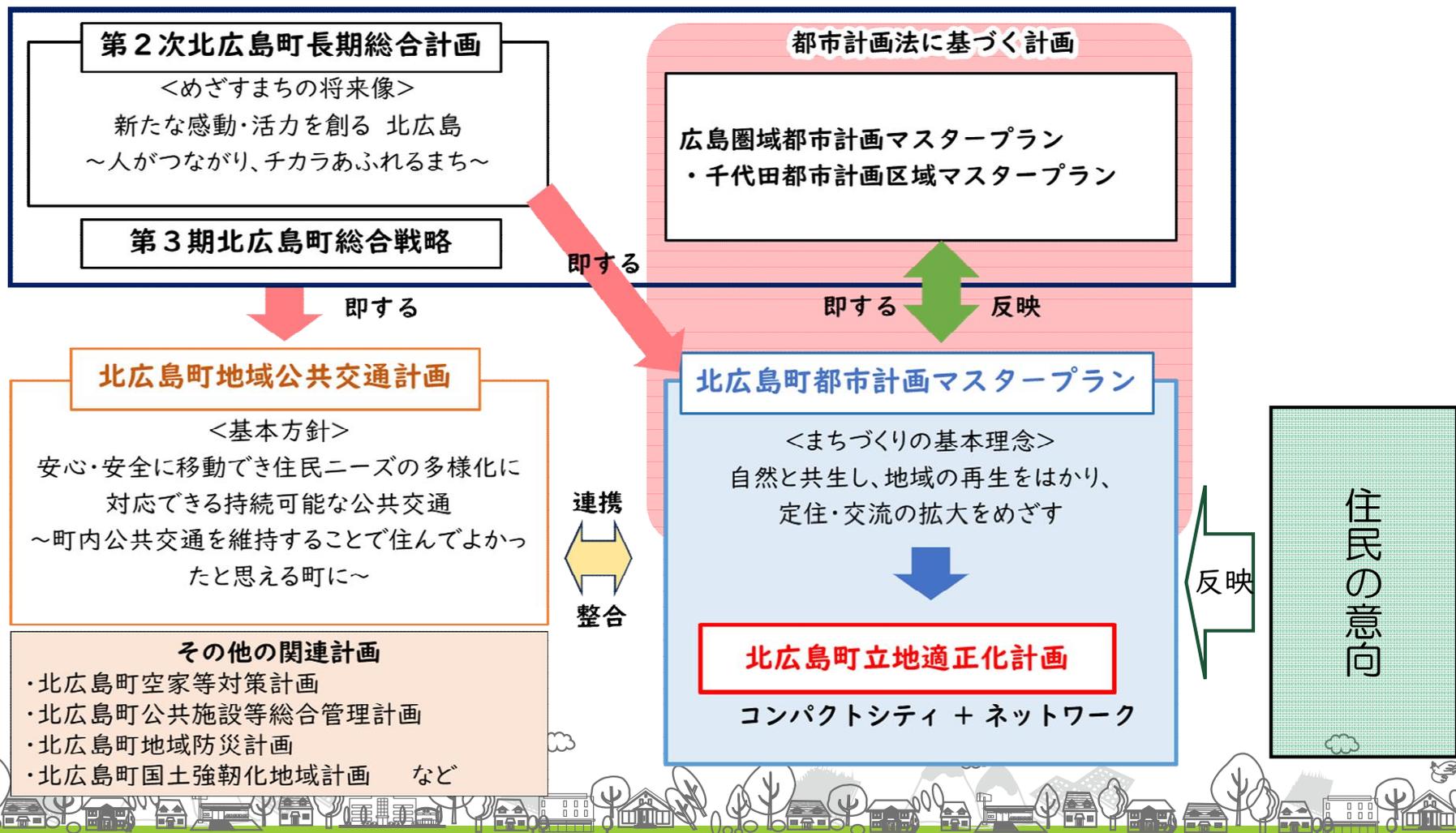
日常生活に必要な施設  
を各地域に配置

利用実態に応じ、必要な  
交通手段を確保

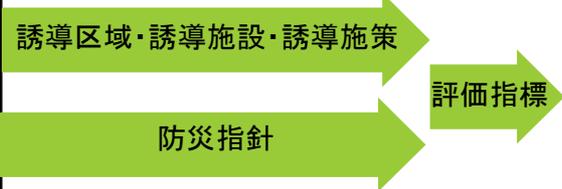


## (2) 計画の基本的な考え方等～計画の位置づけ

上位計画である広島県が定める広島圏域都市計画マスタープランや北広島町長期総合計画、北広島町総合戦略などに即し、住民の意向を反映して作成する必要があります。



### (3) 計画策定のスケジュール

| 計画名             | 令和6年度   | 令和7年度   |
|-----------------|---|---|
| 都市計画<br>マスタープラン |   |    |
| 立地適正化<br>計画     |   |    |
| 住民意向の<br>把握     |  |  |



# (4) 北広島町の現状

## (1) 人口

- 人口は今後も減少傾向で、令和32年には6千人減(令和2年比)と見込まれます。
- 高齢化率は上昇傾向にあり、令和32年には45.8%となる見込みです。



図 人口と高齢化率の推移

出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

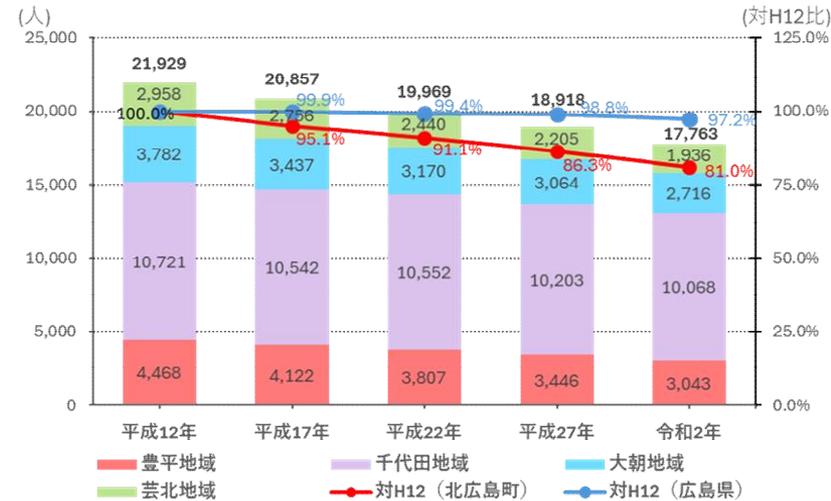


図 地域別の北広島町の人口の推移と伸び率

出典: 国勢調査

## (4) 北広島町の現状

### (2) 産業構造

- 産業別総生産額割合は第2次産業が6割以上を占めており、広島県に比べても第2次産業が盛んです。
- 広島県の産業別総生産額に占める本町の割合をみると、本町は県内でも第1次産業が盛んです。



図 産業別の総生産額割合の推移

表 産業別県内総生産額に占める北広島町の割合

(百万円)

|      | 総生産額       | 第1次産業  | 第2次産業     | 第3次産業     |
|------|------------|--------|-----------|-----------|
| 北広島町 | 117,553    | 4,055  | 76,307    | 37,898    |
| 広島県  | 12,128,058 | 67,443 | 3,999,224 | 8,054,502 |
| 対県比  | 0.97%      | 6.01%  | 1.91%     | 0.47%     |

出典：令和3年度広島県市町民経済計算結果

※総生産額は輸入品に課される税・関税(控除)総資産形成に係る消費税を含むため、第1次・2次・3次産業の合計は総生産額と一致しない場合があります。

## (4) 北広島町の現状

### (3) 都市基盤・交通

- 本町は広域交通ネットワークが張り巡らされている交通の要衝となっています。
- 北広島町では高速バス、町内路線バス、広域幹線バスのほか、ホープタクシーが運行しており、年利用者数は21万人程度(令和5年度)です。

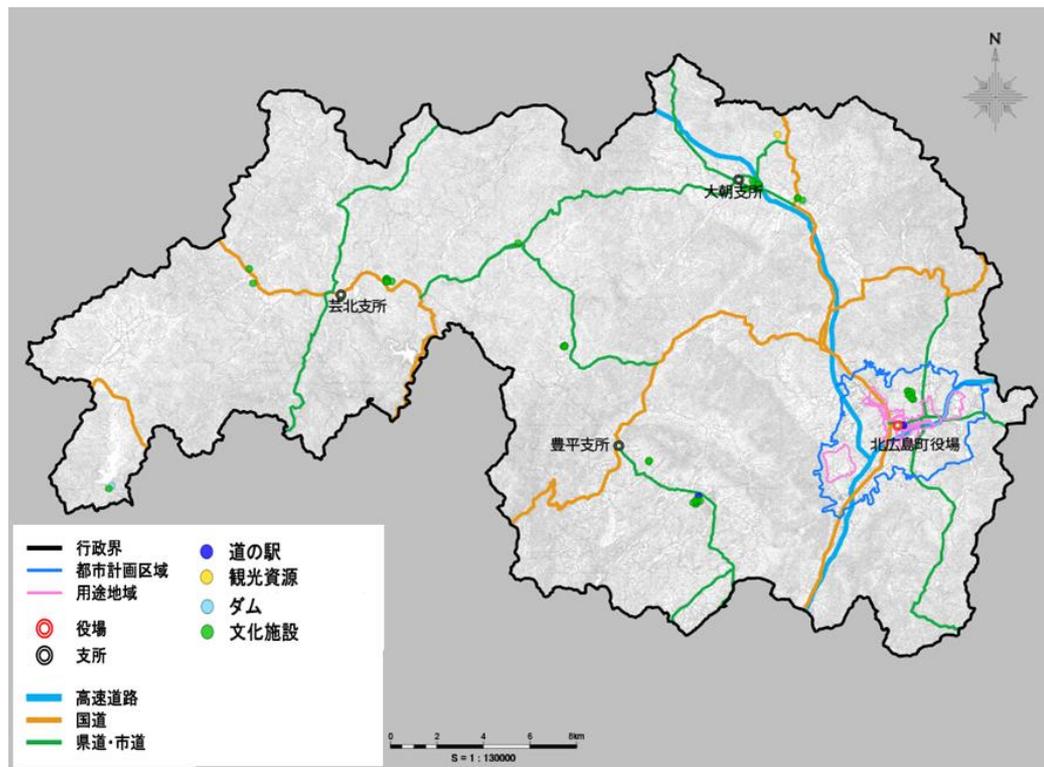


図 主要な道路網

出典: 国土数値情報

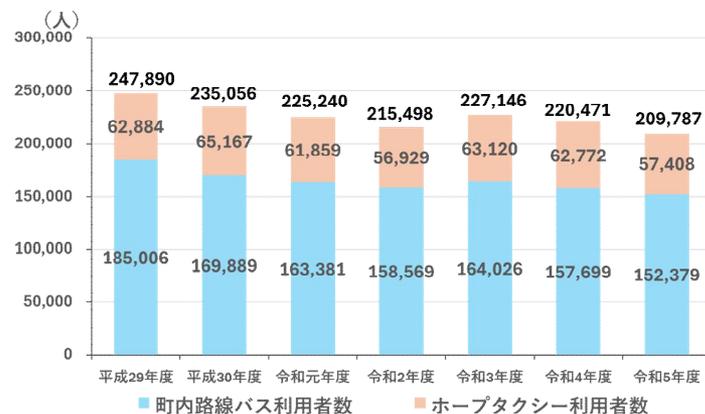


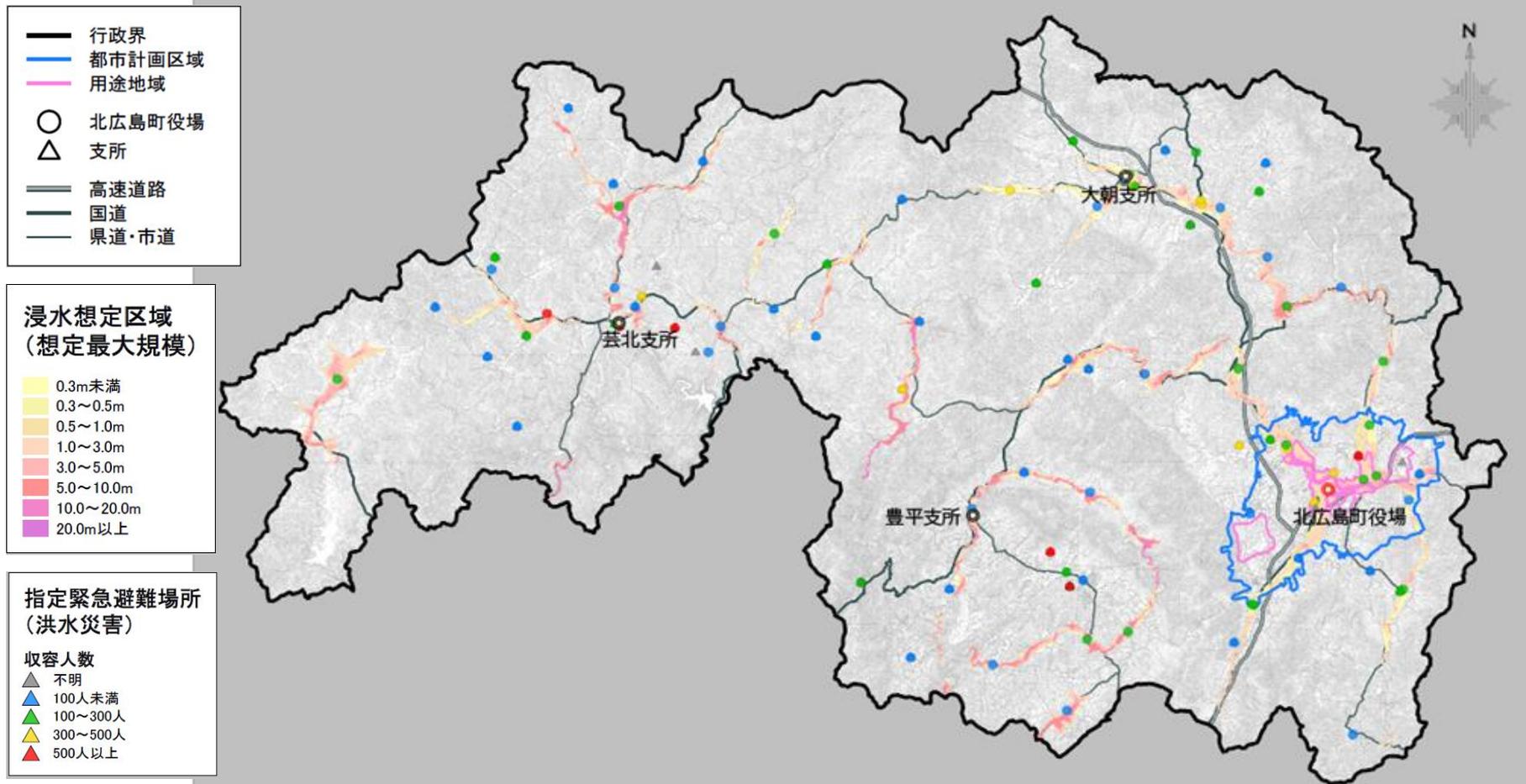
図 町内路線バス・ホープタクシーの利用者数

出典: 北広島町地域公共交通計画  
令和5年6月、庁内資料

## (4) 北広島町の現状

### (4) 災害

- 北広島町では、洪水、土砂災害、ため池浸水等の災害リスクが想定されています。



## (5) 住民アンケート調査の結果(速報)

### (1) 調査目的

- 町民の生活実態や、生活環境等に対する満足度や今後の期待・意向等の把握

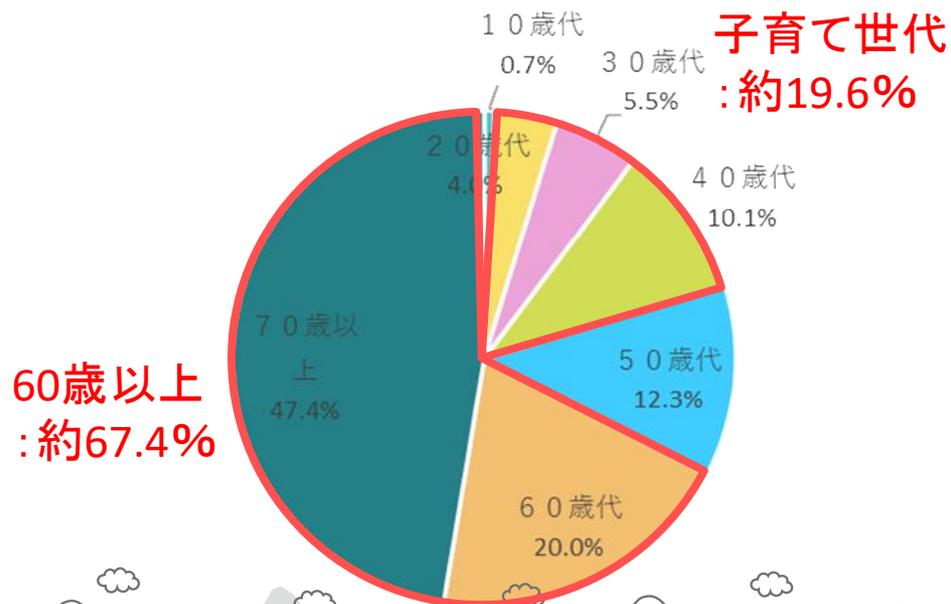
### (2) 配布数/回収数

- 配布数: 2,000部
- 回収数: 897部 (郵送: 724部、WEB回収: 173部)【回収率44.9%】

### (3) 配布方法/回収方法

- 配布: 郵送配布
- 回収: 郵送回収【724部】  
WEB回収【173部】

### (4) 回答者の属性(年齢)



ご協力いただき  
ありがとうございました



## (5) 住民アンケート調査の結果(速報)

### 日常生活の移動環境

- 交通手段は**自家用車に依存**
- 移動時間は**15分未満**が過半数
- 徒歩移動で許容する移動時間は**15分未満**が過半数

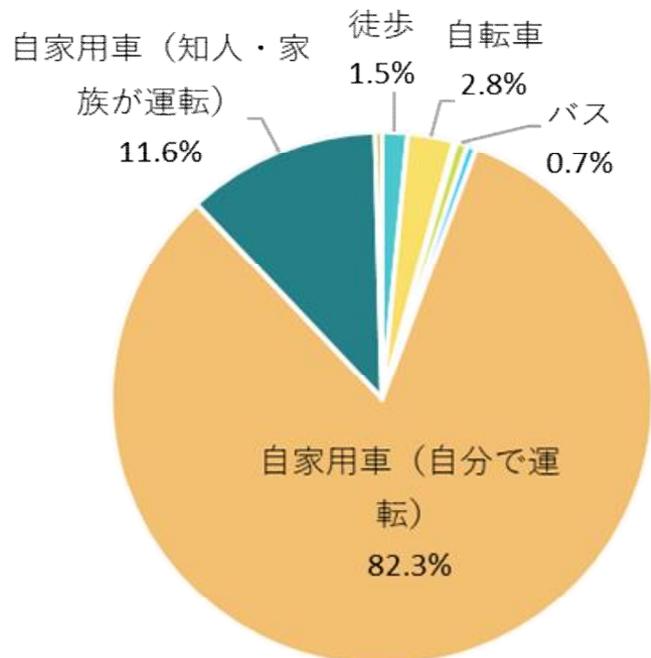


図 食料品、日用品等を購入する際の交通手段

### 日常生活に必要な機能等

- 自家用車を使わずに行けるとよい施設は「店舗(食料品、日用品など)」が最多

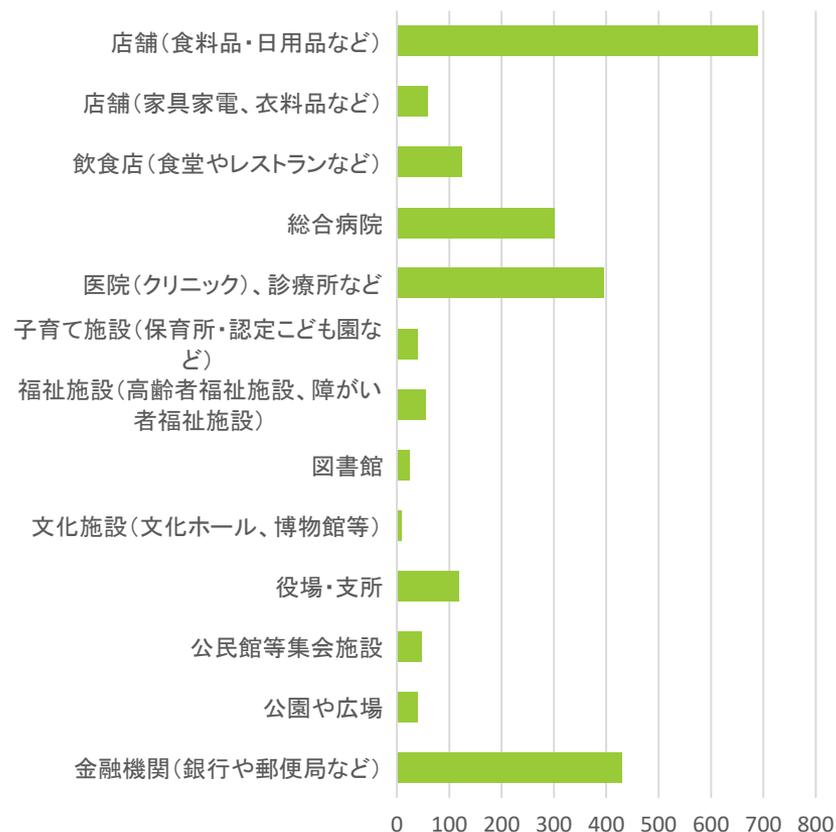
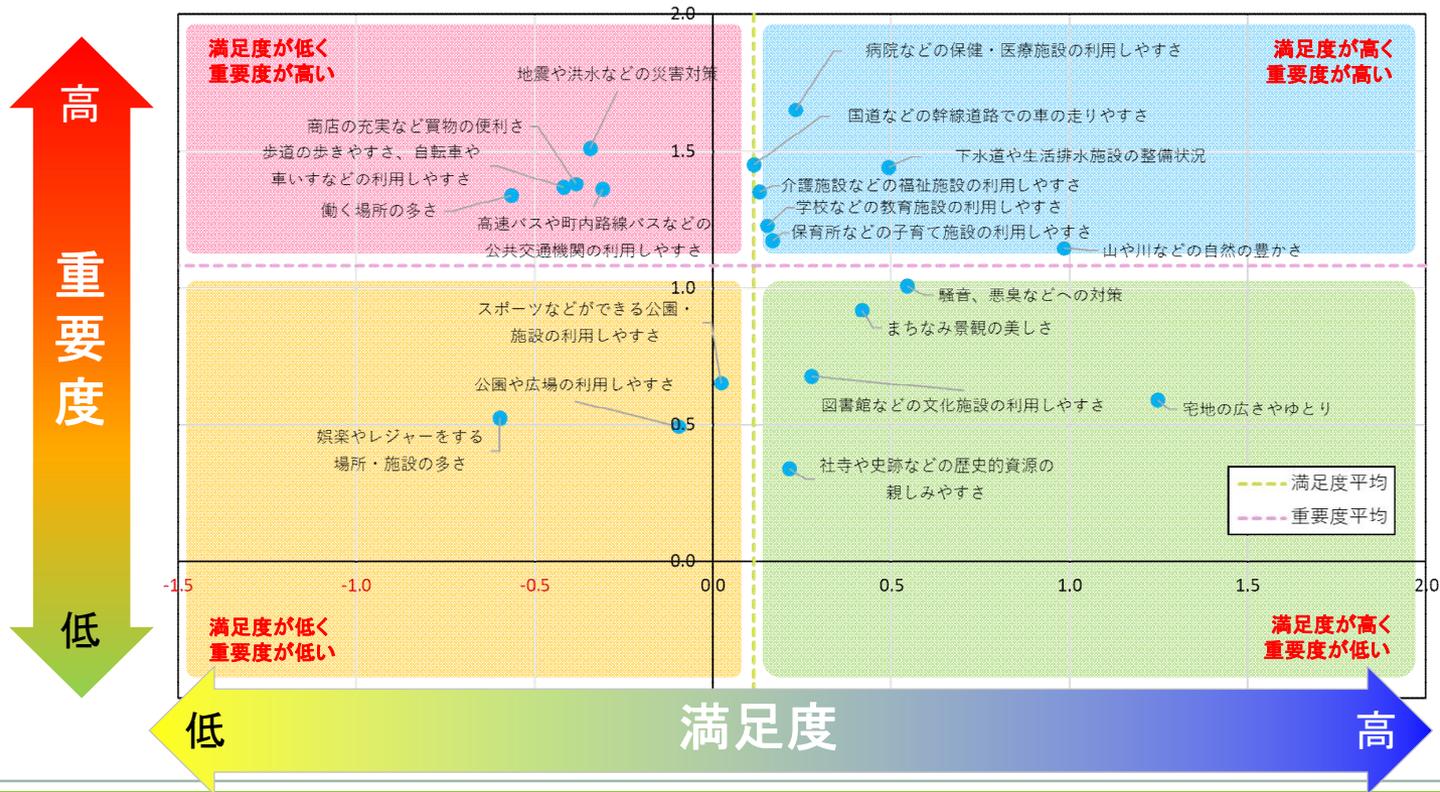


図 自家用車を使わずに行けると良い施設

# (5) 住民アンケート調査の結果(速報)

## 生活環境の満足度と重要度

- 「働く場所の多さ」「商店の充実などの買い物の便利さ」の満足度が低く、重要度が高い
- 「下水道や生活排水の整備状況」「国道などの幹線道路での車の走りやすさ」は満足度、重要度ともに高い



## (5) 住民アンケート調査の結果(速報)

### まちの将来像

- 北広島町の望ましい姿として「日常生活に必要な施設が身近にある暮らしやすいまち」が最多
- 次いで「保健・医療・福祉の充実」「防災面に対して安心感」も求められている

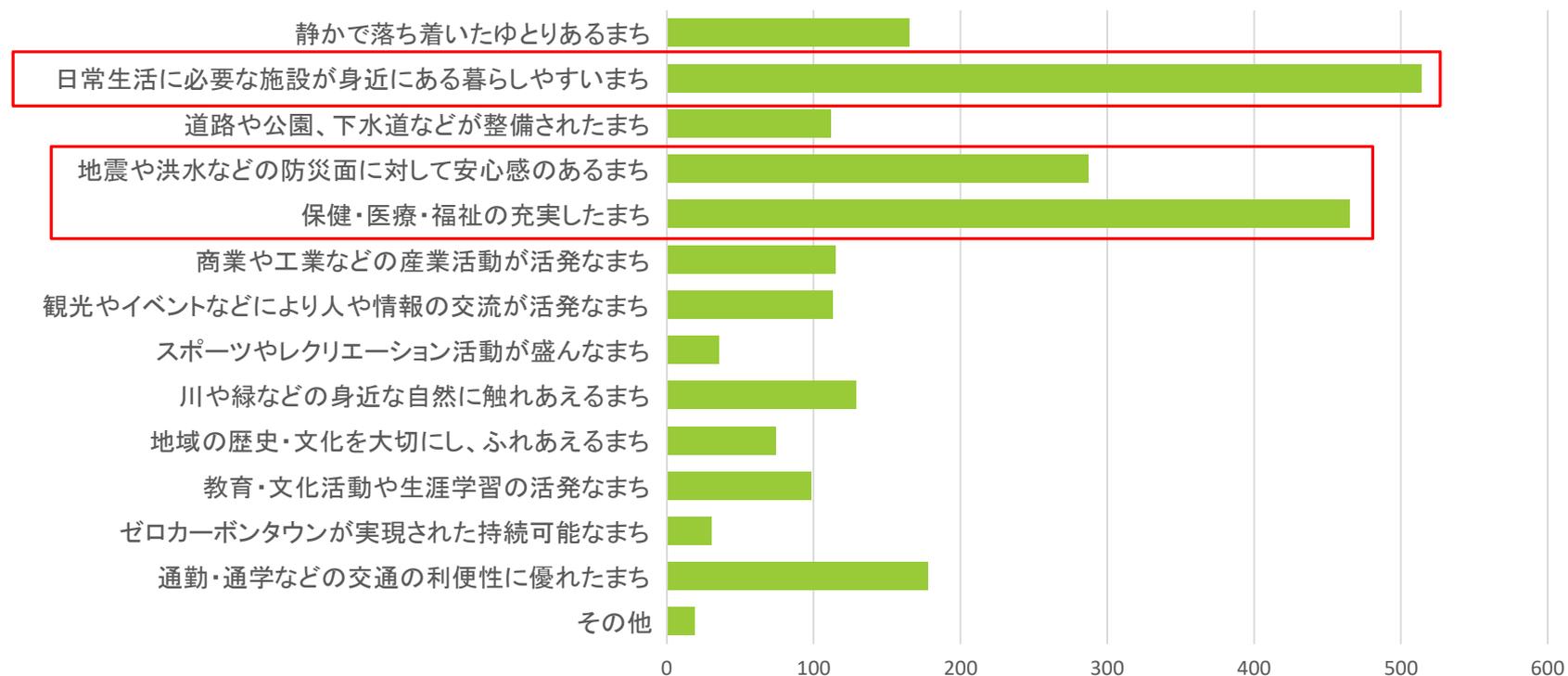


図 北広島町の望ましい姿

# 2. アイデア出し

---



# 意見交換の進め方

本日の意見交換は **ワークショップ形式** で進めます。

## 「ワークショップ」とは？

まちづくりについて話し合う手法の1つです。

参加者が主役になって、自分と他の参加者とのコミュニケーションを通じて様々な発想や考え方の相乗効果が生まれ、新たな気づき・学び・交流・創造ができる場

## ワークショップのルール

- ・ テーマに則して率直に話しましょう
- ・ 相手の意見を否定しないようにしましょう
- ・ 自分と違う意見も尊重し、お互いに学び合う場にしましょう
- ・ みんなが平等に意見を出し合えるよう、協力しましょう
- ・ 楽しみましょう
- ・ 意見を一つにまとめるものではありません



# テーブルワーク

## (1) 自己紹介(3分)

順番に住所と氏名のみ簡潔に「〇〇に住んでいます  
□□です」

## (2) 主な買い物、通院先の確認(5分)

日常の主な買い物先(スーパー、商店等)について聞き取り、該当場所に**カラーラベル(赤)**を張り、名称を記載します。

続いて、主な通院先(病院、診療所等)について聞き取り、該当場所に**カラーラベル(青)**を張り、名称を記載します。



## テーブルワーク

### (3) まちの資源や自慢の聞き取り(20分)

まちづくりに活かしたいもの、大切にしたいものについて、青色の付箋紙に書き、順番に図面の上に貼っていただきます。

伝統のある〇〇神社のおまつり

農業、農作物

### (4) まちづくりのアイデアの聞き取り(25分)

今の子どもたちが中心となる20年後の北広島町を見据えたまちづくりのアイデアについて、桃色の付箋紙に書き、順番に図面の上に貼っていただきます。

〇神社や××をつなぐ歴史散策コースの整備

町内外に向けた農業体験のための圃場整備

→最後に班ごとに発表していただきます。(5分)

